

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成28年6月2日(2016.6.2)

【公表番号】特表2013-516981(P2013-516981A)

【公表日】平成25年5月16日(2013.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2013-024

【出願番号】特願2012-548540(P2012-548540)

【国際特許分類】

C 1 2 N	1/20	(2006.01)
C 1 2 P	1/04	(2006.01)
C 1 2 P	21/02	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/74	(2015.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
C 1 2 R	1/25	(2006.01)
C 1 2 R	1/225	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	1/20	Z N A A
C 1 2 N	1/20	A
C 1 2 P	1/04	A
C 1 2 P	21/02	A
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 K	35/74	A
A 6 1 P	1/04	
C 1 2 N	1/20	A
C 1 2 R	1:25	
C 1 2 N	1/20	A
C 1 2 R	1:225	
C 1 2 P	21/02	A
C 1 2 R	1:25	
C 1 2 P	21/02	A
C 1 2 R	1:225	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年4月5日(2016.4.5)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プランタリシンA、K、もしくはN、またはこれらの混合物から選択される少なくとも1つのプランタリシン、ならびにラクトバシラス・プランタルム DSM23213およびラクトバシラス・ロシアエ DSM23214乳酸菌を含み、あるいはこれらからなるバイオマスの合成のた

めの、あるいはプランタリシンA、K、もしくはN、またはこれらの混合物から選択される1つまたは複数のプランタリシンの調製のための生物工学的方法であって、以下の工程、すなわち：

- a) ラクトバシラス・プランタルム DSM23213およびラクトバシラス・ロシアエ DSM23214乳酸菌の培養増殖；
- b) CDM、WFH、グレープマスト、乳清、果実産物抽出物、及び野菜産物抽出物からなる群から選択される基質の、工程a)に記載の乳酸菌の水性懸濁液との共接種；
- c) インキュベーション；ならびに場合により、
- d) 乳酸菌細胞を取り出すための培養プロセスの遠心分離を含み、またはこれらの工程からなる、方法。

【請求項2】

工程a)からの懸濁液の細胞密度が、各乳酸菌種について9.0Log cfu/mlであり、これが、基質体積に対して1~4%の範囲の百分率で基質に添加される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

インキュベーションが、30~37℃の温度で、18~24時間実施される、請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

遠心分離が、4℃で、10,000×gで15分間実施される、請求項1から3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

乾燥または凍結乾燥による、工程d)で得られた上清の脱水のための工程e)をさらに含む、請求項1から4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項6】

プランタリシンA、K、もしくはN、またはこれらの混合物から選択される少なくとも1つのプランタリシン、ならびにラクトバシラス・プランタルム DSM23213およびラクトバシラス・ロシアエ DSM23214乳酸菌を含み、あるいはこれらからなる、バイオマス。

【請求項7】

1つまたは複数の医薬として許容可能な賦形剤および/またはアジュバントと共に、活性成分として請求項6に記載のバイオマスを含み、またはこれらからなる医薬品組成物または美容組成物。

【請求項8】

表皮または腸壁の閥門機能を増大させるための薬物を調製するための、プランタリシンA、ラクトバシラス・プランタルム DSM23213およびラクトバシラス・ロシアエ DSM23214乳酸菌を含むかもしくはこれらからなる、バイオマス、または1つもしくは複数の医薬として許容可能な賦形剤および/もしくはアジュバントと共に、活性成分として前記バイオマスを含むかもしくはこれらからなる組成物の使用。

【請求項9】

創傷治癒用の薬物を調製するための、プランタリシンA、ラクトバシラス・プランタルム DSM23213およびラクトバシラス・ロシアエ DSM23214乳酸菌を含むかもしくはこれらからなる、バイオマス、または1つもしくは複数の医薬として許容可能な賦形剤および/もしくはアジュバントと共に、活性成分として前記バイオマスを含むかもしくはこれらからなる組成物の使用。

【請求項10】

ラクトバシラス・プランタルム DSM23213もしくはラクトバシラス・ロシアエ DSM23214乳酸菌、またはこれらの混合物。

【請求項11】

表皮の閥門機能を増大させるための薬物を調製するための、プランタリシンAの使用。

【請求項12】

創傷治癒用の薬物を調製するための、プランタリシンAの使用。